

放送大学公開講演会・出雲市生涯学習講座

# 仏教の東方伝来と冥界観

大阪大学名誉教授

放送大学島根学習センター客員教授



荒川 正晴 氏



本講演会では、私たちが住む東アジア世界にとって重要な意義をもつ仏教についてお話ししたいと思います。

ご承知のように、仏教はインドで生まれた宗教で、だいたい1世紀頃には中国に伝わりました。ただ仏教は、そもそもどのような宗教として東方世界に伝わったのでしょうか？

本講演会では、中国を中心とする東アジア世界に定着した仏教が、どのような宗教として受け容れられていたのか、仏教教理の上層レベルではなく、世俗信徒の信仰レベルでお話したいと思っています。

とりわけ、それまでの死後に対するイメージをどのように変えていったのかをご紹介します、私たちが今持っている冥界観とのつながりを明らかにしたいと思います。

日本の歴史は世界史と区別して考えがちですが、ここで取り上げる事例を通して、古代においても「世界」と連動していたことを、併せて認識して頂ければ幸いです。

とりわけ、それまでの死後に対するイメージをどのように変えていったのかをご紹介します、私たちが今持っている冥界観とのつながりを明らかにします。

6月1日

(土)

入場  
無料

時間: 14:00-15:30

場所: 出雲市役所くにびき大ホール

定員: 50名

(事前申込制: 締切 5月22日(水))

●○○ ●なたでも参加できます。●○○

申し込み: 出雲市市民活動支援課

TEL.0853-21-6528 IFAX.0853-21-6299

メール [gakushu@city.izumo.shimane.jp](mailto:gakushu@city.izumo.shimane.jp)

: 放送大学島根学習センター TEL.0852-28-5500



\*FAX、メールでお申し込みの方は①講演会名「仏教の東方伝来と冥界観」

②氏名(ふりがな) ③住所 ④電話番号 を明記してください。

\*申込により取得した個人情報については、本件の連絡にのみ使用します。